

第2回学校協議会

日時：平成25年11月18日（月）

場所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

- | | | |
|-----|-------|---------------------------|
| ・会長 | 天津 謙二 | 吹田市立東山田小学校 校長 |
| 委員 | 石黒 典男 | 学校関係者 |
| | 柏渕眞理子 | 地域教育協議会 東山田地区青少年指導員会地区委員長 |
| | 城下 英行 | 関西大学 社会安全学部 助教 |
| | 角 美代 | 本校 PTA会長 |
| | 室 善博 | 吹田市立千里丘中学校 校長 |
| 校長 | 中田 裕省 | 吹田東高等学校 校長 |
| 事務局 | 今井 洋子 | 吹田東高等学校 教頭 |
| | 内田 秀司 | 吹田東高等学校 事務長 |
| | 池田 隆宏 | 吹田東高等学校 首席 |
| | 藪内 博樹 | 吹田東高等学校 首席 |

- ・学校協議会実施要項についての確認
保護者から学校への意見書の提出は0件であった。

- ・議 事
◆報告事項

(1) 教科書の選定報告について

事務局から概要を説明。特に意見はなかった。

(2) 「生徒による授業アンケートに結果」について

事務局：授業アンケートについて本校は従来から実施しており、今年度からは大阪府教育委員会から指定された内容でマークシート方式により実施。年2回実施することになっており、第1回目は1学期の終業式に実施し、第2回目は期末考査の最終日に実施する予定である。各質問に対して4（よくあてあまる）、3（ややあてはまる）、2（あまりあてはまらない）1（まったくあてはまらない）の4段階でマークする。個票は各個人の先生方に配付。教科ごとに科目の平均値も提示し、今後の授業改善に役立てる。今年度は平均値が2.8に満たない科目は教科で話し合い、授業の改善案を授業改善委員会に報告。11月中に各教科の担当者が記述式アンケートを実施し、授業改善に活かす予定である。

委員：中学校や小学校でも授業アンケートを実施している。生徒にとって、厳しい先生の評価が案外低くなる傾向にあるので、アンケートの結果だけで一概にいけない。

委員：大学でも実施しているが、解釈が難しい。いい加減に授業をしていても高い数値になったり、反対に一生懸命やっても低い数値になることがある。

事務局：数値の差についてはこれから認識していきたい。

委員：同じ平均値でも1と4に偏っている場合と2と3に偏っている場合とでは意味合いが違ってくるので、標準偏差をとるのもいいだろう。

事務局：授業アンケートの結果は保護者や生徒には報告していない。集計は業者が実施している。

(3) 体育祭での負傷生徒と体調不良への対応と今後の対策について

事務局：概要を報告。該当の保護者やPTAの役員などの意見を参考にPTA実行委員会を経て、意見をまとめた。

委員：報告、連絡、相談の徹底が必要。首から上の事故は必ず医者に行かせる。保護者への連絡も必ず取る。行事でいつもと違う状況なので、対応が難しいと思うが。

事務局：病院へは事前に連絡すべきだったと思う。

委員：学校としての体制づくりが大切である。

委員：体育祭などの行事では担任にも役割があり、保健部と管理職が責任を持って対応すべきだ。担任への連絡は状況により事後でもいい。

委員：熱中症のことを考えると時期をずらしてはどうか。

事務局：以前は9月に実施していたが、進路関係行事のことをふまえ他校も参考に今の時期に移した。

委員：高校生となれば、自立していると思うが。

委員：最近の子は、体力的に弱い。

事務局：熱中症対策として一人一本のスポーツドリンクの提供を考えている。

委員：費用は大丈夫か。

委員：PTAとして検討中。

委員：スポーツドリンクにこだわる必要はない。

委員：熱中症は珍しいことではないので、その対応が大切である。

委員：学校医に来校してもらったら。

事務局：開業医をしているので、無理かもしれないが、依頼してみる。

◆協議事項

『学校経営計画』の進捗状況について

◇協議内容要旨

事務局：パッケージ研修を実施。11月1日（金）に国語の授業で研究授業を実施。7月4日（木）の全体の研修で全教科に共通する「授業観察シート」を作成した。

委員：授業観察シートは座学と実技で分けた方がいいのでは。

委員：授業アンケートとリンクしている方がいいと思う。

事務局：授業観察シートは指導教諭が把握し、後に授業担当者に渡すシステムになっている。

委員：中学校ではお互いの授業を見せ合う機会が多く、教員も積極的である。お互いを高め合うことが大事。いつどの授業を誰が観察したかを黒板に掲示している。

委員：授業観察は常勤講師と非常勤講師についても実施しているのか。

事務局：常勤講師と非常勤講師については希望者のみ実施している。

委員：本校では常勤講師、非常勤講師とも授業見学を実施している。

委員：授業観察者の視点がばらばらだと良くない。観点を絞って授業観察することも大事だと思う。

委員：小・中と違って、高校は多忙であり、指導細案が作成する時間がない。

事務局：11月9日（土）にクリーンキャンペーンを実施。クラブの公式戦の影響で昨年度より減少。クラブごとに地域を割り当て、阪大生（14名）や地域の人たちと学校の近隣を清掃した。阪大生の感想として地域との連携することの大切さを学んだという意見があった。終了後、大阪府の期限切れ前の備蓄米をPTA実行委員会の協力を得て、清掃活動に参加した生徒、地域の方に提供した。

事務局：国際理解教育の一環として、平成26年度にオーストラリアのマジー高校との交流を考えている。能勢・大冠・福井・本校の4校で共同して実施する。来年の4月にマジー高校の生徒が3泊4日の予定で本校に来校し、本校の生徒の家にホームステイをする予定である。約6世帯を募集しており、現在のところ2名が申し込み、約3名の問い合わせがある。本校からは夏休みに語学研修としてオーストラリアのマジー高校を訪問し、教員が1名付添い、費用については同窓会やPTAからサポートを受ける予定。希望者が増えた方がいいと思っている。

事務局：学校のホームページに校長通信という欄を設けた。

事務局：新入生に「本校のホームページを見たことがありますか」という質問に対し、62%の生徒が「見たことがある」と回答している。

委員：これからは情報通信の発信の仕方が大事になってくる。

事務局：体育館の耐震化工事が終了。苦情件数も0件であった。40周年記念事業の一環として食堂を改装する予定。

委員：食堂は学校を選ぶポイントになっている。

事務局：達成状況については次回報告します。